

平成29年12月の保育園だより

『食育の推進』

～食の計は元旦にあり～

核家族化が進んだとはいえ、お正月は家族、親戚が集まっ
ての食事や会話を楽しむ機会が多くなると

(1) 保育園の特性を生かした食育

- 保育園における食育は、健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標としています。
- 子どもが生活とあそびの中で、意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しみ合う子どもに成長していくことを期待します。
- 乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう食事の提供を含む計画の下、改善に努めています。

(2) 食育の環境整備

- 子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとして食材や食の循環・環境への意識、調理する人への感謝の気持ちが育つよう、子どもと調理員との関わりや給食室など食に関わる保育環境に配慮しています。
- 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協力の下、食に関する取り組みをしています。
- 体調不良や、食物アレルギー、障害のある場合等一人ひとりの心身の状態に合わせて対応しています。

災害時に備えて

坂町主催 地震・津波防災訓練 12/16(土) 10時～

避難場所は西側公園で消防団や地域の皆様とともに保育園の子ども達も参加します。ちなみに、地震、津波、大雨土砂災害、火災の一時避難としては坂小学校、長期間の場合はサンスターホールが坂町より指定された避難場所であり、避難勧告が出た場合には緊急携帯メールにてお知らせすることになっています。

年末年始は特に火災が多くなるシーズンです。慌てず火の元の確認をするようにしましょう。

一人ひとりの違いとよさを知り、 だいにすることは ～人権週間から考える～

1948年12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択された。「人間は生まれながらにして自由で、人種、性別、言語、宗教などによって差別されることのない」という30か条による大宣言。これを記念し、国連は10日を「世界人権デー」、法務省及び全国人権擁護団体は、4～10日を「人権週間」としました。

また、1994年頃には「子どもの権利条約」が立ち上がり子どもを小さな市民と捉え子どもと大人がパートナーとして社会を創るのだということで、子どもを見る目子どもを捉える力を見直しなさいということでした。

「人権」というと子ども達にとって難しいものになってしまうかもしれませんが、人は一人ひとり違ってそれぞれよいところを持っています。そのよさを見つけ、認め、受け入れていくということなのだと思います。

先月の地域公開保育では、地域の皆様にご来園いただき、苦情解決第三者委員の縫部洋耀氏や見藤洋子氏に一日園長をしていただいたり、坂小学校の根石教頭先生にも保小の連続性という視点からも保育園の中での子ども達のあそびの様子を観ていただきました。

「とにかく子ども達が元気!!」「0歳から年長さんまで子ども達が主体的に活動できるような環境がある。」との感想をお寄せいただきました。

11月18日(土)の乳児の保育参観にはたくさんの保護者の皆様のご家族で参加していただきました。0歳、1歳児クラスの保護者の皆様からは「普段から子ども達の興味、関心のあることをたくさん工夫してもらい集中して遊ぶ我が子に感動した。」「市販の玩具より手作り玩具の方が集中してあそびので作り方を知りたい。」「自分より小さなお友達にやさしく接してい

る姿に驚いた。」「講師の南夢末先生の触れ合い遊びに参加して、忙しい日常を立ち止まり子どもの姿を見つめる事が出来た。」等貴重なご感想をたくさんいただきました。

あそび環境として子ども達の探求を捉え『身体をしっかりと動かせる空間』『手先をしっかりと動かして感触も味わえる空間』『大人との関わりや友達との関わり合いができる落ち着いた空間』を意識することで、0歳児と1歳児が同じ部屋の中でお互い刺激し合い、学び合うことができることも保護者の皆様に実感していただいたのではないかと思います。

2歳児クラスでは、子ども達の「したい!!」という言葉での表現を汲み取り、楽器あそびやごっこあそびの様子を参観いただきましたが、2クラスとも子ども達が自ら選択し、その気になる表現あそびの展開がみられたのではないかと思います。毎日気持ちのズレで葛藤する2歳児ですが、楽器の取り合いでトラブルになった友だち二人の様子を見て、自分の持っている楽器をそっと渡して他の楽器を選び変えた姿を見た時、人間性の育ちを(自分の中に他者の気持ちを取り入れ行動する)を感じた場面もありました。

子ども達は日々成長し学びを深めています。私達大人が子ども達の捉え方を見直し、「同じになることを要求したり、同じになることで安心する」のではなく、「違うことの素晴らしさとよさ」を語り合うことの大切さや「我が子のいいところみつめ」ギュッと抱きしめながらたくさんしてあげることの大切さを人権週間にあたり思うのです。年の瀬の慌しい時期だからこそ、心を亡くさないよう子ども達にゆったり笑顔で関わってあげましょう。幼い頃から愛情を注ぎよさを語られた子は、感じる力、考える力、粘り強い力、人と関わる力、主体的に学ぶ力すなわち生きる力が高いはずで

今月はインフルエンザ流行の兆しもありますので、冬の健康管理には十分気をつけ過ごしましょう。(園長 倉本弘子)

幼児・生活発表会

『環境を通じた保育』の充実を図りながら、日常の保育の延長線上にある生活発表会を目指し、各クラスとも色いろな工夫をしています。保護者の皆様とともに子ども達の成長を確認し合う場になることを願いながら、会場の皆様の参加型の場面では子ども達とともに楽しんでいただき盛り上げていただければ幸いです。年齢ごとの入れ替え三部制になっておりますので、ご協力の程よろしくお願いたします。

日時：12/9(土) 午前9時～年少
午前9時40分～年中
午前11時～年長

場所：坂みみょう保育園 2Fホール

※正式な開始時間については、12/5(火)の全体練習が終了後、別紙お手紙を配布いたします。

社会とのつながりを

意識する触れ合いを!!

今月は、もちつき会(12/14・木)お楽しみ会(12/18・月)伝承あそびの会(12/19・火・年長児のみ)クリスマス交流会(12/22・金・年長児のみ)等、地域の有志の皆様、坂町民生児童委員の皆様、母子保健推進員の皆様の来園や通所リハビリテーション施設への訪問等を通して、保育園を取り巻く地域住民の皆様との触れ合いの中で、お互いのメリットを生かしていきたいと思ひます。また、日本古来の習慣やあそびについて学んだり、様々な人との関わり方に気づき、地域に親しみをもちつなどの出合いの場にもできたらと思ひています。